



星の郷総合教室

No. 155

平成25年5月25日発行

電話072-895-6230

名前 _____
塾報受取日 _____ 月 _____ 日

6月の予定

- 5月28日 6月度授業料引落日
(6月10日 引き落とし予備日)
- 5月26日(日) そろばんグランプリ
大阪府大会
- 6月1日(土) 暗算検定・授業休み
A1グランプリ締め切り
- 6月23日(日) 珠算検定・段位検定
- 6月30日(日) A1グランプリ

特別練習の予定と対象者

- 6月1日 午前9時～11時
○6月23日の検定受験者のみ
- 6月1・8・15日 午後5時～7時
○アドバンスト・チーム (A-team)
○6月23日検定受験者
○A1大会出場者
- 6月22日 午後5時～7時
○6月23日検定受験者のみ
- 6月29日 午後5時～7時
○A1大会出場者のみ

◎6月1日実施の暗算検定は全級とも午前8時30分開始、午前8時50分終了予定です。通常授業はありませんが、午前9時から11時まで、6月23日珠算検定の特別練習を行います。都合がつく人は出席してください。

なお暗算検定の日程の都合が悪い皆さんは5月30日・31日の授業中に受験できます。

◎合宿の申込は締め切りました。

◎6月30日のA1グランプリ大会は、枚方市立地域活性化支援センター(「輝きプラザきらら」内)において正午開会、午後4時30分閉会予定です。参加者は現地集合ですので、開会の15分前までに会場にきてください。駐車場には限りがありますのでご了承ください。枚方市からバスも出ています。観覧席もあります。

出場の申込をした生徒には、練習問題を渡します。家でもできるように数回分の問題をまとめて渡しますので、少しでも上位に進出できるようにがんばってください。間違い直しに力を入れることで正確性が格段に上がります。

ご家庭でもお伝えください

教室至近の交差点で、自転車に乗った生徒二人が信号無視をしている、という通報がありました。事実確認も本人の特定もできていませんが、通報があつてからできる限りスタッフが交差点付近で安全のため見張っています。

その横を通り過ぎるときに、あいさつも会釈もしない生徒がチラホラ…。

あいさつは基本です。教室でも注意

をしておりますが、ご家庭でも基本的なしつけについて再点検をお願い致します。あいさつは、交わす当人たちだけでなく、周囲にも良い空気を醸し出す作用があります。

検定・競技会のおすすめ

珠算教育には、技術を伸ばすさまざまな仕掛けが用意されています。

中でも最も効果的な仕掛けが検定試験や競技会。

検定試験につきましては昨年12月発行の塾報に詳しく書きました。過去の塾報は当教室のホームページで閲覧できますので、最近入会された皆様はそちらをご覧頂きたくと思いますが、簡単にもう一度ここで触れておきます。

現在、当教室で行っております試験は4種類です。

1. 段位認定試験（日本珠算連盟主催）
2. 珠算能力検定試験（日本商工会議所主催）1～3級
3. 暗算検定試験（一般社団法人大阪珠算協会主催）1～6級
4. 珠算・暗算能力テスト「i-test」（一般社団法人大阪珠算協会他主催）

実力や時期を考慮して、生徒の皆さんにふさわしい試験の受験を勧めています。

競技大会は年に20回ほど参加できる機会があります。大会ごとにレベルがまちまちですが、検定と同様に、生徒個人々にふさわしい大会への積極的な参加を案内しています。

検定も競技大会にも参加を考慮するに当たって「ふさわしい」と書きましたのは、薬や教材と同じで時期と用法を正しく判断しなければ効果半減となったり毒にもなったりするからです。

さて、受験や出場を決めると、本番で最大の効果を出すために、タイムベ

ルトを各自が作成します。具体的に紙に書き出す人もいれば、頭の中にぼんやりとしたイメージだけを浮かべる人もいるでしょう。

無計画で突き進む、あるいは申し込みしたことで満足してしまい、あえなく大失敗という人もいます。

- ① 計画通りに進んで好結果。
- ② 計画通りに進むも結果振るわず。
- ③ 計画通りに進まずも好結果。
- ④ 計画通りに進まず結果も振るわず。
- ⑤ 計画なし

取り組みと結果はこれら5つのパターンのどれかになり、気負い、慢心、おごり、緊張、おそれ、希望、夢などの精神的な作用がスパイスとなって加わることでさらにパターンは分化するわけですが、これってそろばんに限らず、人生のあらゆる場面において起こることです。

そろばん学習で遭遇するさまざまな困難やうれしさがすべて人生を生き抜く知恵や経験になると幾度となく塾報で触れてきておりますが、今回もまた視点を変えて書いてみました。

6月30日のA1大会。大会デビューには最適だと思います。A1大会は他者との戦いというよりも、自己記録への挑戦という色彩が非常に強い大会です。日常では味わえないような雰囲気の中で、間違えるとそこですぐに失格になってしまうという緊張感とプレッシャーをくぐり抜けて自己記録を出すのは至難のわざですが、大会に向けての練習と本番を経験することで一皮も二皮もむけることでしょう。

i-test独自の取り組み

昨年11月から始まりましたi-test。

- 種目ごとに受験できる。
- 受験当日に申し込むことも可能。

○受験日を選べる。

○受験した日の実力を測定する。

以上のような特色がありますが、何よりも日常の練習に取り入れることによって上達速度が上がるのが特筆すべき点で、当教室では昨年9月からi-testをメイン練習にしています。

i-testでは最初のレベルを除き、100点未満だと級も段も認定されず、「基準未達」という評価となります。練習で何回かに1回、ギリギリ100点を超えるような状態でも、生徒たちはいわば「瞬間最大風速」とでもいうような結果を求めて難しいレベルを受験したがるのが常で、私も生徒の意志に従います。左に書きました「ふさわしい論」で言えば、グレーゾーンに入る部分なのですが、実はグレーゾーンを設けることができるのはi-testの特長の一つでもあるのです。

「瞬間最大風速」は常態ではありませんから試験で風を吹かせることは稀で失敗することがあります。そんな場合、i-testではレベルを落として再テストを実施できます。逆に、レベルを上げて再受験することもできることになっています。

再試験は1種目につき1回限定で、試験実施期間内に限るという制限がありますが、今の内閣と同様、「再チャレンジ」可能な試験なのです。

出席時間20時間以上の生徒

(5月20日までの1ヶ月)

楓まい37 山内星徳37 金本愛夢37
大野虹35 奥田あさひ35 山内優歩33
山内美空33 金本大夢32 神山周31
大土井楓賀30 大土井穂賀30 奥田南海29
文沢駿介27 岩成海27 西井萌26
永田綾稀25 湊結子25 岩瀬菜々香24
岡田亜瑠24 有本華帆23 兼

松咲菜23 金本三夢23 北森遥弥22
北森彩月22 今泉優衣22 井上寛大22
仲井心琴22 楓陸21 古川愛佳21
堀さやか21 文沢一花21 兼松健介20
高山琴音20 福田陸人20 小野澤怜花20
齋藤小春20 中島萌唯20 西井颯一朗20

猛スピードばく進中(PERFECT)

(初歩教材PERFECTを1ヶ月で20ページ以上進んだ生徒)

甚野ひな112 市岡美夕108 盛井結子91
竹下綾音67 西井萌65 西村優里菜63
古川紗羅60 足立登大59 和泉初音56
兼松健介56 古川仁衣那51 中島百萌49
青田裕哉47 福井太一44 岡本希美41
山田知弥39 国永紘資38 石川ひなた36
吉田彩良36 藤原菜央33 森矢涼太33
城万葉28 田中広美28 天野裕翔27
森田航平27 安原良真26 判田翔汰朗25
楠田泰己24 安達菜々美21 横山士竜21
渡邊紘生21 由比彩菜20

フラッシュ暗算合格者

(5月20日までの1ヶ月間)

九段 福田陸人
五段 窪田茜
三段 熊田星麗 西本朱里
二段 齋藤小春
初段 山内優歩
1級 小野澤怜花
2級 大土井楓賀 北森彩月 永田綾稀
3級 岩瀬菜々香 谷川愛奈 仲井心琴
森本倫才 大和蒼波 山本莉奈
4級 佐伯理仁 西井颯一朗
5級 西井颯一朗 大土井穂賀
楠戸遥葵 福井夏歩
6級 西井颯一朗 福井夏歩 河野美紅
久保心暖 久保田絢香
引波未来乃 松田拓也
7級 引波未来乃 松田航 山根未来

8級 山根未来 小野澤遼 大野虹
入口寛都 河野優揮 北尾明日希
水越友香 吉田翔瑛

9級 山根未来 小野澤遼 大野虹
石田里穂 金子直毅 熊谷圭祐
新町陽介

10級 小野澤遼 石田里穂 金子直毅
熊谷圭祐 田中瞳夏 田中歩
西村優里菜 原田小雪 森本爽月
山口佳澄

「間」を意識しましょう

「間」という漢字を見て「間寛平」さんを思い浮かべる人は生粋の関西人です。死ぬまで生き抜きましょう。

さて、そろばんの「1」。一珠を一つあげることで表すことができますが、経験者と未経験者との間には、上げる動作に違いがあります。

経験者の中でも、熟達の度合いによって違いが生じます。

見た目にはただの1。どこが違うのでしょうか。

1だけではありません。5をそろばんに置いたり払ったりするときにも差があります。6も7も8も9も、みんなそうです。

未経験者、習い始めて間もない生徒、6級程度の生徒、1級程度の生徒、十段取得者の5人を横に並べて、一斉に5を置いたり払ったりするのを観察すると答が見えてきます。

それは、指を上げる距離です。熟達者になればなるほど、珠を動かすのに必要な分だけしか指が動きません。

珠を一つ動かすだけならわずかな差しかありませんが、これが何百何千なってくるとずいぶん違いとなって表れてきます。

指を動かす「空間」を意識し、距離を縮めること、これが上達です。

今度は、そろばんに123を置きます。たったこれだけのことで、やはり経験の差が出てきます。

熟達者は1・2・3の間にほとんど時間的な間がありません。流れるように指が動いていきます。「1を置き、親指が少しそって2を置き、さらに少し大きめにそって3を置く。手首は桁の移動にあわせてなめらかに右に移動する」、言葉にするとこうなります。左手を使うようになると、123はほとんど一瞬で布数されます。

初心者の場合は、1…2…3というように数字と数字の間に一呼吸二呼吸があります。間を詰めるように指示すると、途端に手首に力が入り、他の珠を触ったり逆に遅くなったりします。

上達するということは、僅かな時間すらも無駄にしないという「時間」を意識することなのです。

星の郷教室の初日の授業（体験学習）がマンツーマンなのは、空間と時間の感覚を新入生に最初にしっかりと根付かせたいからです。体験学習にかかる時間がまちまちなのも、私が納得できるまで、生徒の手首を触ったり見本を示したりするからです。

「空間」と「時間」を意識して練習を重ねながら、ちょっとした成功体験と失敗体験を積み重ねて精神的にたくましくなり、仲間を思いやったり助け合ったり互いに高めあったり、ときにはぶつかり合ったりもして成長していく過程で「人間力」を育成していくのが珠算学習です。

「空間」「時間」「人間力」。3つの「間」をキーワードにして珠算学習を紹介してみました。

○虫が多いので、しばらく教室1階の雨戸を早く締めます。